

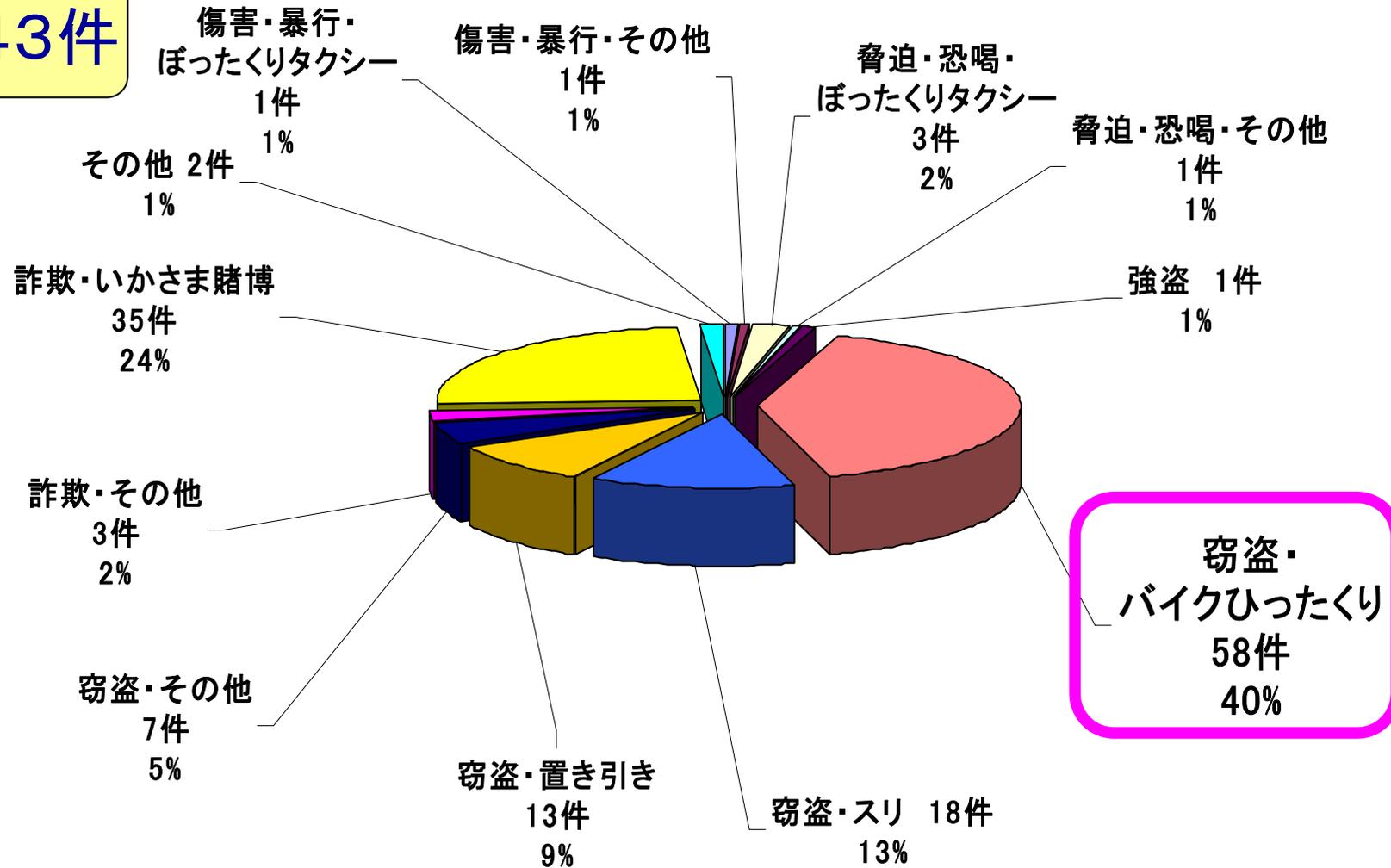
最近のひったくり被害の状況等

平成23年11月

在ホーチミン日本国総領事館

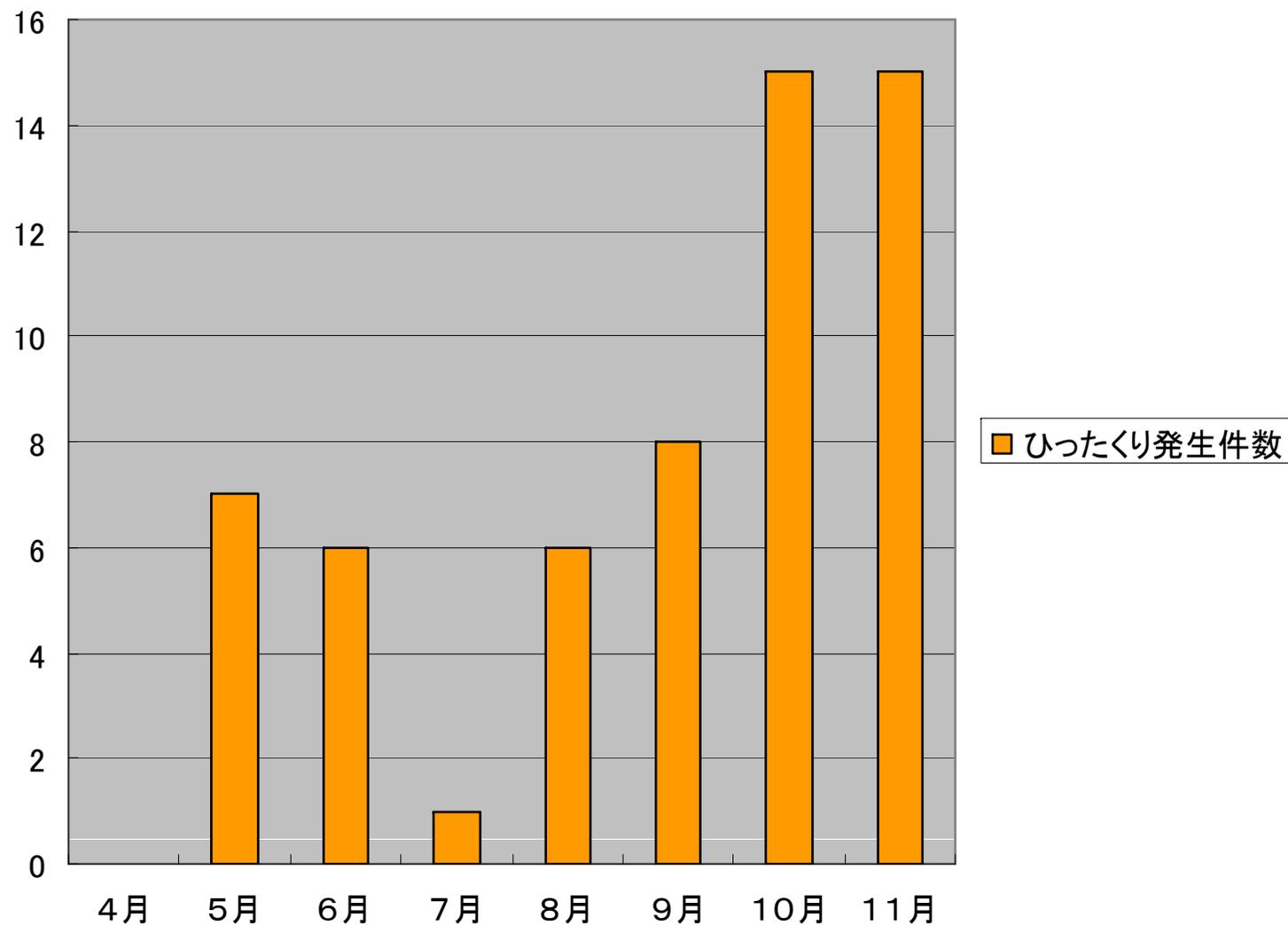
犯罪被害にかかる邦人援護件数 (4月~11月)

計143件



ひったくり被害の発生状況 (4月~11月)

計58件



最近のひったくり被害の特徴【場所・時間】

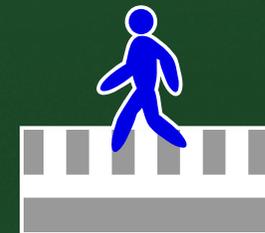
- 市内中心部では、ハイバーチュン通り、ドンコイ通り、レタントン通り等の外国人が多い通りに被害が集中
- 市内中心部以外での発生も増加傾向に（約3分の1）
～3区内、ニャチャン市内での被害散見

- 交差点付近での発生が多い

～約3分の1の事件が交差点付近で発生

- 午後6時以降～深夜時間帯に被害が集中

～全体の約60%を占める



最近のひったくり被害の特徴点【被害者】

- iphone等のスマートフォン、デジタルカメラ、ノートパソコン等高額物品所持者



- 高額現金所持者

～手ぶらであってもポケットから奪取されることも

- 飲食店から出てきた酔客

～しばらく後をつけられた後に被害に

- 男性の被害割合の増加（約60%）

～うち、在留邦人の割合は約40%

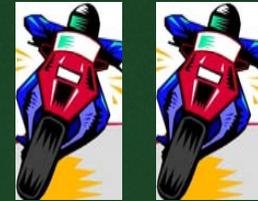
- 在留邦人の被害割合が増加（約40%）

～バイク通勤者の荷物を狙う手口も散見



最近のひったくり被害の特徴【犯人・手口】

- 2台以上のバイクが1組となった犯行
（4名以上で構成）



- 麻薬中毒者が多く、凶器を携行しており、抵抗に対しては容赦なく暴行を加える
- バイクを体にぶつけ、ひるんだ隙にひったくる
- バッグ等を離すまで体ごと引きずる
- 外国人が多いホテル、飲食店等出入口付近での待ち伏せ
- 高額物品、高額現金所持者の後を尾行



ひったくり対策【基本的な考え方】

- 一旦犯人側から狙われたら被害回避は困難
- 狙われないためには犯人側から見て期待値が低い
(割りにあわない) 存在になること

犯人側から見た期待値
=財産的価値×犯行の容易性



- 高価な物を携行しない（見られない）、警戒心を持つ（見せる）等日頃の心がけ次第で対策が可能

ひったくり対策【**外出前**の**具体的対策**】

- 極力手ぶらでの外出を心がける
- 近距離であっても自動車での移動（ドアツードア）
を心がける
- 特に女性は単独での外出を控え、夜間は目立つ高価な装飾品を身につけないよう心がける
- バイクに荷物を載せて移動する場合、確実に荷物とバイクとを結束しておく
- 現金、カード類、旅券等の貴重品を一つのバッグ等にまとめて所持しないよう心がける

ひったくり対策【外出中の具体的対策】

- バッグ類を持って徒歩で移動する場合は、道路側に持たず、建物側を歩くこと
- iphone等のスマートフォン、デジタルカメラ、ノートパソコン等高額物品は極力人前で出さない
- 支払いの際等、財布の中を他人に見られないように
- 交差点での道路横断時、横断直後を特に警戒
- ホテル、飲食店、銀行等の出入りは周囲を警戒してから ~自分を注視する者がいないか
- 時々振り返って背後を確認する習慣を
- 帰宅、店舗間移動等においても自動車を利用

ひったくり被害に遭ってしまったら

- 抵抗しない、追いかけない
～生命、身体の安全を第一に
- 公安（警察）への届出
- 携帯電話、カード、保険会社等への連絡
- 総領事館への届出